

1 体育科における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) スポーツ基本法 (H23. 8. 24) から

- ・ 第二条第一項 (基本理念)
「スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である・・・」
※ 学習指導要領「豊かなスポーツライフ」と同じ意味となる。
- ・ 第十七条 (学校における体育の充実)



学習指導要領改訂の重点「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」

(2) 運動領域

① 成果

- ・ 指導内容の明確化及び系統性の視点を大切にして授業づくりが進んでいる。
→ 学習評価の内容が明確になっている。・・・「指導と評価の一体化」
- ・ 「体づくり運動」の授業が充実し、「多様な動きをつくる運動 (遊び) パンフレット」の活用が図られている。
- ・ ゲームやボール運動領域における教材が工夫されている。

② 課題

- 1) 指導内容の明確化は「技能」だけと解釈されていないか。
 - ・ 体育科の指導内容・・・「技能」「態度」「思考・判断 (「知識」の内容を含む)」
 - ・ 三つの指導内容をバランスよく指導することが大切である。
- 2) 「技能」の内容は、「できればよい」のではないこと。
 - ・ 各学年の「技能」リード文から

低 (中) 学年・・・「楽しく行う」
高学年・・・「楽しさや喜びに触れる」
※中学校1, 2年・・・「できる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできる」
高等学校・・・「よりよくできる楽しさや喜びを味わう」



技能の習得の主体は常に「できるようになりたい」と願う「子供」である。

- ・ 知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力, 判断力, 表現力等の育成を図る。

(授業づくりの方向性)

- ・ 個に応じた指導
- ・ 自ら課題解決を図るために、試行錯誤しながら学ぶ機会を保障する授業

- 3) 6年間を見通した指導計画の作成はなされているか。

(問題点) ・ 活動 (種目) ありきの計画になっている。
・ 担任が変わると、指導内容が引き継がれない。
・ 同じ学年の1組と2組で取り扱っている運動が違っている。



- ・ 「指導内容」は2年間のまとまりで示されており、2年間の終わりまでにしっかり指導することが必須であることから、「何を」「どの段階で」「どのように」「どの運動で」指導するかという「指導内容」の整理が必要である。
- ・ 「指導内容」を確実に指導するための「授業時数」増加であることを踏まえてほしい。

(3) 保健領域

① 授業への取組に関する評価のポイントと課題 ※参考資料「H22 保健学習推進委員会報告書」

- ・ 今回の改訂で示された内容について、授業が計画通りできたか。

＜保健の学習の行い方＞ から

- ・ 「冬季、梅雨時期等にある時期に集中して行った」・・・全体の60%

↓

運動領域の学習との兼ね合いを踏まえ、計画的に授業を行うことが重要である。

- ・ 知識を活用する学習活動を積極的に行い、思考力・判断力を育成していくことができたか。

→ 「知識を教え込む授業から、子供が考える授業へ」

- ・ 指導内容の精選
- ・ 考える時間の保証
- ・ 思考の過程が見える学習カードの工夫
- ・ 指導と評価の一体化を推進できたか。
「評価を次の指導に生かした」・・・全体の70%

↓

それぞれの内容のまとまりで示された「理解」の指導内容は、「健康・安全への知識・理解」だけでなく、「健康・安全についての関心・意欲・態度」や「健康・安全についての思考・判断」も含まれていることから、単元の目標を三つに分けて示し、評価も3観点で行うとしている。

2 その他

(1) 女子の運動離れについて

- ・ 「やってみよう」という運動への関わりを提供する。
- ・ 女性教員自身がスポーツの魅力を実感できるような教材を開発する。

(2) 幼児期運動指針について (H24. 3. 28)

- ・ 丈夫で健康な体づくり・・・体力や運動能力の向上を図る。
- ・ 運動に関する意欲の向上・・・「もっとやってみよう」「またやってみよう」
- ・ 毎日行うこと・・・1日60分が目安となる。

→ 様々な運動遊びを中心となるが、散歩やお手伝いなどの生活における様々な動きも含む。

(3) 参考となる資料

- ・ 学習指導要領の趣旨に沿った授業を構築する上で、その理解を深めることが必須となる。
 - 多様な動きをつくる運動（遊び）パンフレット (H21. 3)
 - 学校体育実技指導資料第8集「ゲーム及びボール運動 (DVD付)」(H22. 3)
 - 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料のための参考資料
 - 言語活動の充実に関する指導事例集 (H23. 1)
 - 学年別教師用指導資料「小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック」(H24. 4)
 - 小学校体育（運動領域）「デジタル教材（高学年）」(同上)
 - 幼児期運動指針・幼児期運動指針「ハンドブック」パンフレット (H24. 4)
- ※ 学校体育実技指導資料第7集改訂版「体づくり運動」(未定)
学校体育実技指導資料第9集「表現運動系及びダンス」(H24. 12 予定)